

都市計画道路 門脇流留線 門脇工区の供用開始について

門脇流留線は、石巻市門脇から同市流留に至る、全長約12.9kmの都市計画道路であり、東日本大震災で被災した石巻市沿岸部において、東西交通軸を構成する重要な路線となります。

そのうち、門脇工区、南浜工区及び魚町工区（下図参照）は、災害時における避難路の役割を担う道路として、平成24年度から復興交付金事業により延長7.9km区間の整備を進めてまいりましたが、このたび、既に供用を開始している延長4.5km区間に続けて、元明神交差点から石巻市道新橋双葉線交差点までの延長3.4km区間の本線工事が完了し、令和4年3月24日に供用を開始することとなりました。

今回の供用により、東松島市の都市計画道路矢本門脇線と接続することで、石巻市と東松島市間の災害時における避難及び救援ルートの確保、地域間交流の促進や観光振興などに寄与することが期待されます。

○事業概要

延長・幅員	延長7,900m 幅員6.0(13.5～50.0)m
事業期間	平成24年度～令和3年度
事業費	約338億円
主要構造物	第二明神橋（だいにみょうじんばし）延長60m

○開通式典概要

日時	令和4年3月24日（木） 午前10時から
場所	石巻市門脇字捨喰地内
主催	宮城県
出席予定者	【主催】宮城県副知事 【来賓】石巻市長，東松島市長，県議会議長，県議会建設企業委員会委員長，地元選出県議会議員，石巻市議会議員，東松島市議会議員，復興庁，国土交通省，地元関係者など約50名
内容	テープカット・くす玉開披等
その他	新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、式典内容の簡素化や出席者全員のマスク着用の徹底等を図ることとしております。

※一般開放（車両含む）：同日 午後3時予定

※取材申込みは事前申込み制です。詳細については別途お知らせいたします。

